

経営内容のお知らせ

Ehime Shinkin Bank Report

2021年4月1日▶2021年9月30日



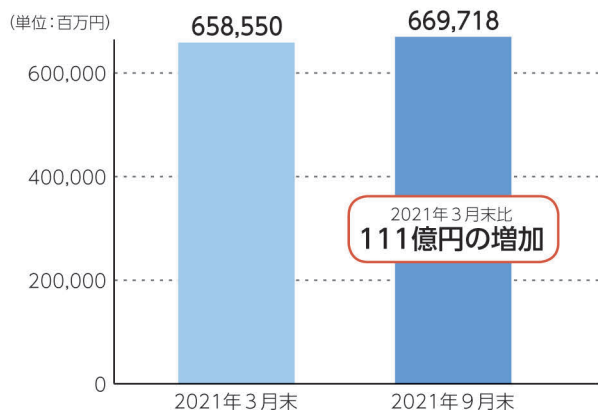
小田（喜多郡内子町）

「愛」ある街のホームドクター
愛媛信用金庫

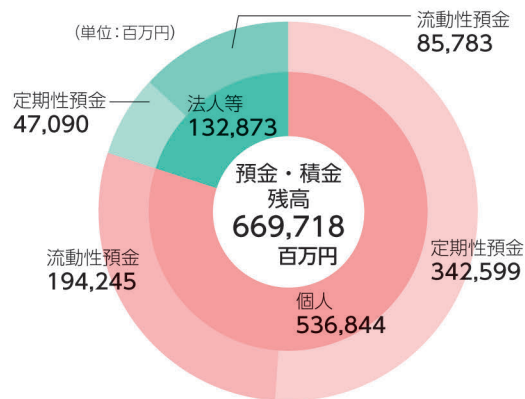
預金の状況

地域の皆さまからの信頼の証である預金残高は順調に増加しました。9月末残高は前期末比111億円増加し、6,697億円となりました。

預金・積金残高



人格別預金残高構成

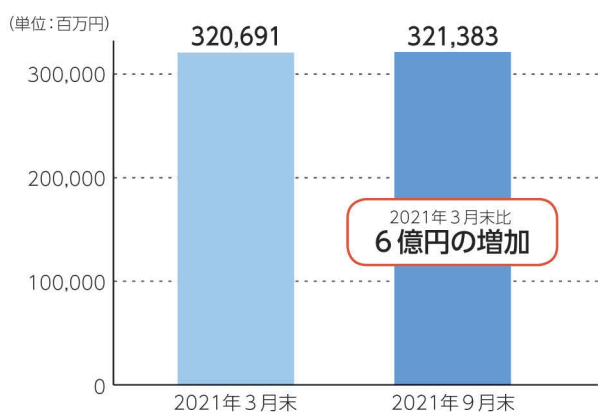


(注) 1. 「個人」には個人事業主を含んでいます。
2. 「法人等」には地方公共団体、金融機関等を含んでいます。

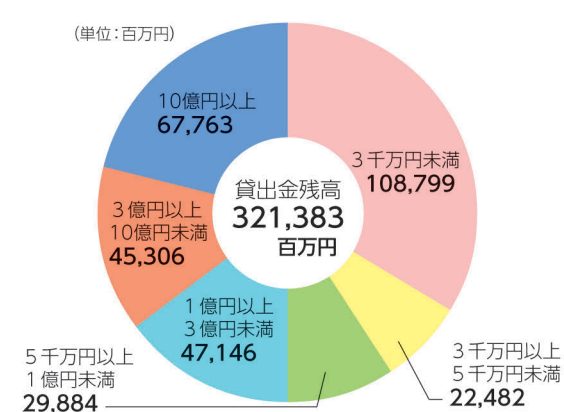
貸出金の状況

新型コロナウイルスの影響を受けたお客さまに対する資金繰り支援など適時適切な対応に努めました。9月末残高は前期末比6億円増加し、3,213億円となりました。

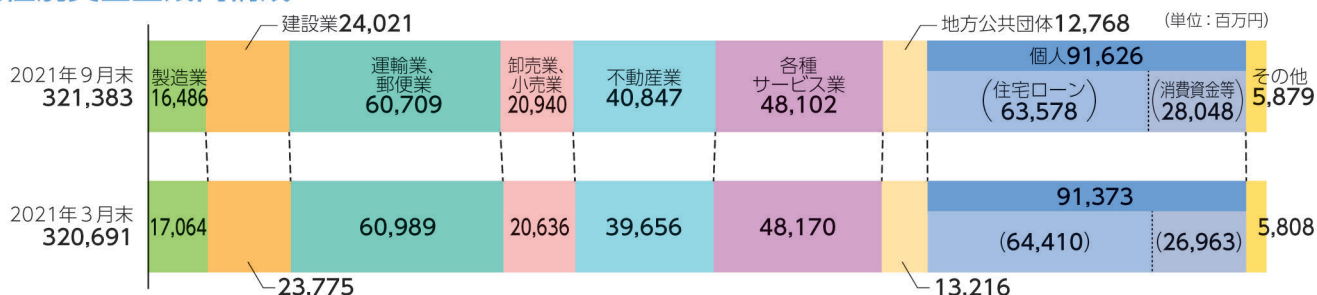
貸出金残高



金額階層別貸出金残高構成



業種別貸出金残高構成

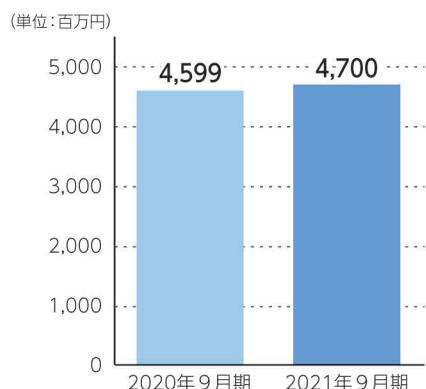


(注) 1. 「各種サービス業」は、「物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「宿泊業」「飲食業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「医療、福祉」「その他のサービス」です。
2. 「その他」は、「農業、林業」「漁業」「鉱業、採石業、砂利採取業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融業、保険業」です。

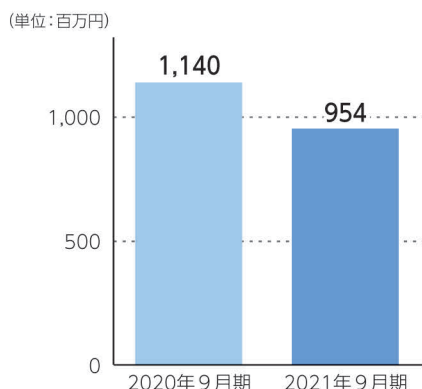
利益の状況

新型コロナウイルスの影響が長期化する中、これまでどおりお客さま本位の活動に努め、地域の多くの方々に当金庫の金融機能・サービスをご利用いただいた結果、引き続き安定した利益を計上することができました。

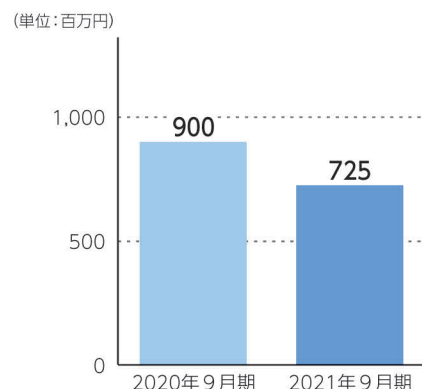
経常収益



経常利益



当期純利益



(単位:百万円)

	2020年9月期	2021年9月期
経常収益	4,599	4,700
業務純益	1,149	1,450
実質業務純益	1,149	1,430
コア業務純益	921	930
コア業務純益 (投資信託解約損益を除く。)	921	930
経常利益	1,140	954
当期純利益	900	725

用語のご説明

●業務純益

預金積金利息などの資金調達費用をはじめとする業務費用から金銭の信託運用見合費用を控除した額を、貸出金利息などの資金運用収益をはじめとする業務収益から差し引いて算出するもので、信用金庫の主な業務によって得た純利益を表しています。

●実質業務純益

業務純益に一般貸倒引当金繰入額を加えたもので、信用金庫の主な業務によって得た利益をより厳密に表しています。

●コア業務純益

業務純益に一般貸倒引当金繰入額を加え、国債等債券5勘定戻(国債等債券売却益、国債等債券償還益、国債等債券売却損、国債等債券償還損、国債等債券償却)を控除したもので、金融機関本来の事業活動のみの利益を表しています。

◆ 経営理念

私たちは、お客さま本位の質の高い金融サービスを提供し、お客さまの夢の実現のお手伝いと地域経済の発展に貢献することを通じ、卓越した業績をあげ、信頼度ナンバーワンの金融機関となることを目指します。

◆ 私たちの宣言

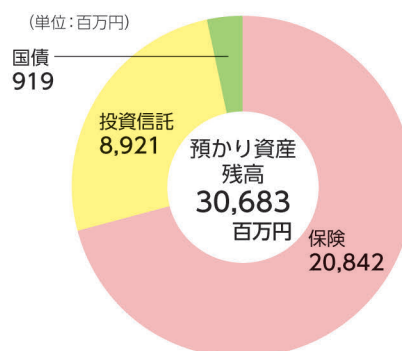
- ① 私たちは、信用金庫人としてのコモンセンスを磨き、人格の陶冶と独自能力の向上に努めます。
- ② 私たちは、法令遵守・倫理の確立に努めるとともに、社会的責任を自覚し、職務に邁進してまいります。
- ③ 私たちは、常にお客さまの立場に立って、様々な顧客価値に丁寧にこたえてまいります。
- ④ 私たちは、磐石の経営体質の確立に努め、職員が生き生きと希望と誇りを持って働ける職場づくりに努めます。



預かり資産の状況

営業店職員とマネーアドバイザー（資産運用支援部所属の預かり資産専任職員）が連携しながら定期的にお客さまを訪問し、それぞれの資産状況や運用方針にあわせて、さまざまな情報を分かりやすくお伝えし、ニーズに合わせた商品をご紹介します活動に努めました。

預かり資産残高構成

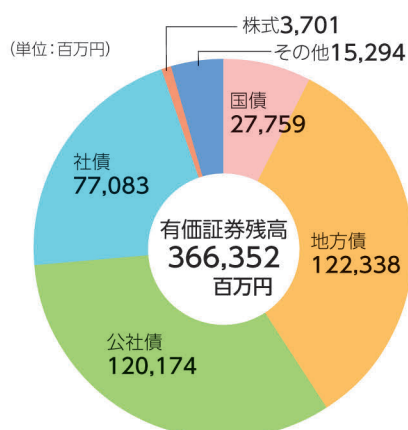


(注) 1. 「投資信託」は、9月末日における市場価格等に基づいています。
2. 「保険」は、「年金保険」「終身保険」「学資保険」です。

有価証券の状況

国債、地方債、政府保証債を中心に安全性・流動性に留意しながら運用しています。

有価証券残高構成



(注) 「社債」は、「金融債」及び「事業債」です。
「その他」は、「投資信託」「外国証券」及び「その他の証券」です。

有価証券の時価等情報

▼その他有価証券

(単位:百万円)

区分	貸借対照表計上額	取得原価(償却原価)	評価差額
株式	3,054	1,960	1,093
債券	347,356	344,280	3,075
国債	27,759	27,498	261
地方債	122,338	121,091	1,246
社債	197,257	195,690	1,567
その他	15,252	14,977	274
合計	365,662	361,219	4,443

(注) 1. 貸借対照表計上額は、9月末日における市場価格等に基づいています。
2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は含まれません。

▼満期保有目的の債券

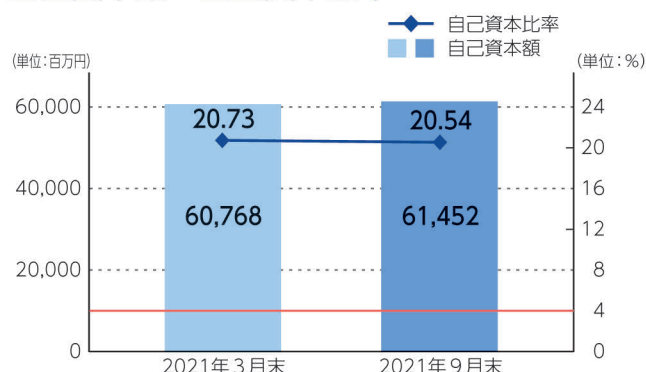
2021年9月末日において満期保有目的の債券は保有していません。

自己資本の状況

当金庫の自己資本は、会員の皆さまの出資金や、每期安定した利益を計上して積み上げてきた内部留保等によって構成されています。

貸出金残高が増加したことなどから、自己資本比率を算出する際の分母となる「リスク・アセット等」が増加しましたが、安定した利益を計上することができたことから、経営の健全性・安全性を示す自己資本比率は20.54%となり、国内基準（4%）を大幅に上回る高い水準を維持しています。

自己資本額・自己資本比率



(単位:百万円)

	2021年3月末	2021年9月末
自己資本 (A)	60,768	61,452
リスク・アセット等 (B)	293,031	299,176
自己資本比率 (A/B)	20.73%	20.54%

用語のご説明

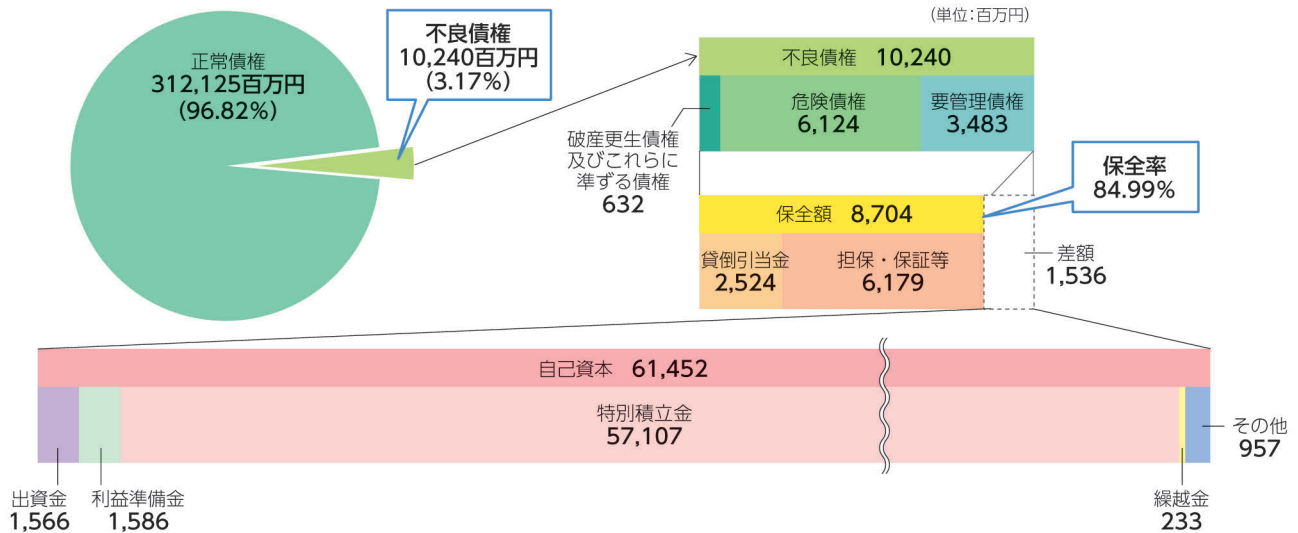
●自己資本比率

リスクに応じて計算された資産（＝リスク・アセット）に対する自己資本の割合を表すもので、金融機関の健全性を示す重要な指標とされています。

金融再生法に基づく開示債権の状況

お客さまの資金繰りの円滑化に努めるとともに、地域事業振興部を中心に本部と営業店が連携し、経営改善や経営力の強化に積極的に取り組みました。

当金庫では、厳格な基準のもと償却・引当を行い、不良債権に係る会計上の処理はすべて完了しています。不良債権額と保全額との差額1,536百万円に対し、当金庫の自己資本の構成の中心となっている内部留保額は58,928百万円であり、経営に与える影響は極めて少なく、健全性を十分に確保しています。



用語のご説明

●破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

●危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態・経営成績が悪化し、契約に従った債権元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

●要管理債権

「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。

●正常債権

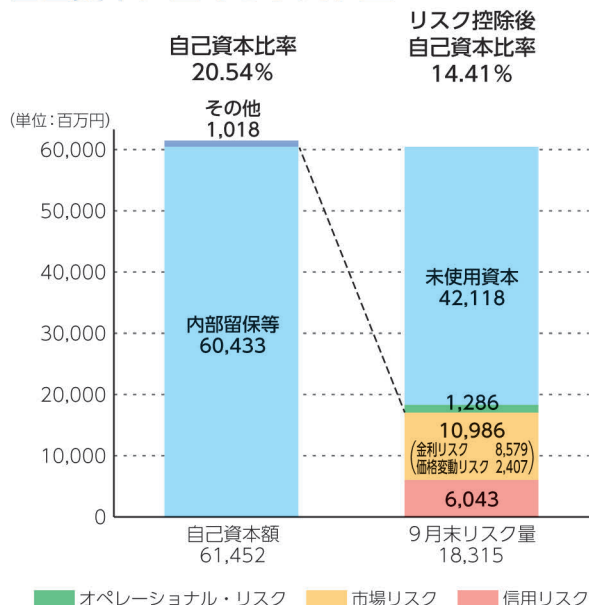
債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

統合的なリスク管理の状況

当金庫では、個々のリスクを一元的に管理し、経営体力（＝自己資本）の範囲内でコントロールすることで、経営の健全化及び収益力の向上に努めています。

9月末におけるリスク量がすべて顕在化したと仮定した場合の自己資本比率も14.41%であり、国内基準を大幅に上回る水準を維持しています。

自己資本に占めるリスク量



用語のご説明

●信用リスク

取引先の倒産や財務状況の悪化などにより、当金庫の資産の価値が減少ないし消失し、損失を受けるリスクのことです。

●金利リスク

資産と負債の金利または期間のミスマッチが存在している中で金利が変動することにより、利益が低下し損失を被るリスクのことです。

●価格変動リスク

有価証券の価格の変動に伴って資産価値が減少するリスクのことです。

●オペレーショナル・リスク

業務上における不適切な処理等で生じる事象により損失を受けるリスクのことです。当金庫では、事務リスク、システムリスク、その他のオペレーショナル・リスク（法務リスク、風評リスク、人的リスク、有形資産リスク等）を含む幅広いリスクとして捉えています。

お客さまの利便性向上のために

■ 店舗リニューアル・店舗統合

大洲支店リニューアルオープン！

店舗機能の充実や利便性の向上、耐震強化を目的として、大洲支店を建替えし、5月31日にリニューアルオープンしました。新しい大洲支店は、「勾配屋根」や落ち着いた色彩の外壁を採用するなど、大洲市の景観に適した建物にしました。

また、店舗入口やATMまで誘導する点字ブロック、多目的トイレを設置するなど、どなたにもご利用いただきやすいバリアフリー構造の店舗となっています。



今治南支店オープン！

10月4日に喜田村支店が移転し、「今治南支店」としてオープンしました。新しい店舗には、ロビー入金機や重要物管理機、電子記帳台、全自動貸金庫等を設置するなど、店舗機能の充実や利便性の向上を図りました。



リニューアルした大洲支店と今治南支店の建物内には、新型コロナウイルス対策の一環として、一度の施工で抗菌効果が長時間持続する光触媒コーティングを施工しています。

※光触媒…太陽光、蛍光灯、LEDなどの光を受けて強力な酸化力を生み、接触してくる有機物や細菌・ウイルスなどを除去する環境浄化物質

店舗統廃合

9月17日に土居田支店を雄郡支店、10月22日に今治立花支店を今治南支店へ統合いたしました。経営資源の有効活用により、業務効率化を図り、一層のサービス向上に努めてまいります。

『愛媛信用金庫 三か年計画ーコロナに打ち克ち、地域社会の力強い回復を目指してー』開始！

今年度にスタートした三か年計画（2021年4月1日～2024年3月31日）では、これまで同様に業務執行の前提であるコンプライアンスを徹底したうえで、信用金庫の本業である「中小企業金融」に引き続き積極的に取り組み、特に、コロナウイルスの影響を受けられた方々への対応を中心としたさまざまな施策や活動を展開していく計画としています。

コロナウイルスの影響が長期化し、地域経済の早期回復が見通せない中で、地域の事業者への徹底した事業継続支援に取り組んでいくことが、当金庫の地域社会における果たすべき役割であると認識し、安定した資金供給だけでなく、当金庫独自の金融サービスに加え、全国の信用金庫網を活かした業界の「つなぐ力」を活用しながら、総合的な事業支援を実施していくことで、地域社会の力強い回復を目指してまいります。

※当金庫ホームページで公表しているディスクロージャー2021に、本計画における認識すべき課題や重点的に取り組む施策などを記載しています。

事業を営むお客さまへの支援

お客さまの販路拡大や様々なマッチングのお手伝いをするため、全国の信用金庫網を活用し、全国各地の事業者さまとのマッチングをサポートしています。コロナ禍においても、オンライン商談会などへの出展を積極的に支援しています。

各種ビジネスマッチングへの出展支援

他の信用金庫が主催するビジネスフェアに、当金庫取引先の出展を支援し、自慢の商品をPRしていただきました。

「ひがしんビジネスフェア2020オンライン」(3月24日～6月30日)
「さいしんビジネスフェア2021オンライン」(5月10日～6月30日)



販路拡大“すごもり”商談会

～絆紡2021～

“すごもり”需要に応える食品・雑貨品の製造・販売を営んでいる事業者とバイヤー企業との商談をサポートしました。(7月14日、7月15日)



経営に関する知識の習得や幅広い人的交流の実施など、企業のライフサイクルに合わせた様々な活動に取り組んでいます。

■ 経営力向上塾



■ 創業セミナー



■ 女性経営者塾



■ 各種補助金・助成金活用支援

愛媛信用金庫では、各種補助金・助成金の申請手続きの支援業務も行っています。

詳しくは、各支店の窓口へお問い合わせください。

2021年度上期支援実績 (一部)

名 称	採択件数
・中小企業等事業再構築補助金	5件 (審査中7件)
・ものづくり補助金	6件
・コロナ対応新ビジネスモデル補助金 (愛媛県)	14件

コンサルティング事例集 2021 に詳しい内容を掲載しています

事業に関するコンサルティングの事例や、実際のお客さまの声を紹介しています。詳細については地域事業振興部までお問い合わせください。

〔地域事業振興部 TEL : 089-946-1121〕



地域活性化への取組み・ボランティア活動

■ 松山まつり on Webに参加



■ 日本遺産「村上海賊」PR



ポロシャツを着用して勤務

■ 信用金庫の日（6月15日）



ご来店いただいたお客さまに花の種を配布

■ 職場体験学習



■ 各種ロビー展の開催



■ 清掃活動



■ 愛媛信用金庫設立70周年記念事業

当金庫の前身である今治市信用組合が設立して今年で70周年を迎えました。これまで当金庫を支えていただいた地域への感謝の気持ちを込めて、愛媛県および本支店が所在する13の市町※へ総額5,000万円の寄附を実施しました。



※松山市、今治市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、上浮穴郡久万高原町、伊予郡松前町、伊予郡砥部町（市区町村コード順）

安心してご利用いただくために

■ 愛媛県警と連携した取組み

- 愛媛県警の協力を受け、各支店で防犯訓練を実施しています。強盗事件発生時の対処方法の確認や対応力の強化、防犯意識の向上を図っています。
- 地域のお客さまが安心・安全に暮らせるまちづくりに貢献するため、本店に「見守りカメラ」を設置しています。このカメラは、360度撮影可能で、地域の犯罪抑止や災害発生時の状況把握などの効果が期待できます。



■ ATMによる出金制限を強化！

特殊詐欺による被害が県内でも後を絶たず、特に高齢者が被害を受けるケースが多く、特殊詐欺から高齢者を守ることが喫緊の課題となっています。当金庫では、高齢者がキャッシュカードを不正に利用された場合の被害拡大防止のため、年齢や金額など一定の条件でATMによる出金の制限を強化しています。

また、当金庫職員や警察官等が暗証番号をお尋ねしたり、キャッシュカードをお預かりすることはありません。そのような案内の電話があった場合は、ご家族、警察、お取引店にご相談ください。



詳しくはお近くの営業店へお問い合わせください。

〒790-0002 松山市二番町4丁目2番地11

TEL 089-946-1111 (代表) <http://www.shinkin.co.jp/ehime/>

本資料は、情報開示頻度の拡充といった観点から、半期における当金庫の現況をピックアップして作成したものであり、信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第21条に基づくディスクロージャー誌ではございません。



見やすい紙面作りのためユニバーサルデザインフォントを使用しています。